

問1 1701年から1800年にかけての幕府領の状況を記した資料によれば、18世紀前半の享保の改革の時期に年貢収納高が大きく上昇しています。この時期に行われた「新田開発の奨励」に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2019年 静岡公立入試 類似）

1. 町人などの資金を利用した開発を認め、幕府領の耕作地を広げることで増収を図った
2. 大名に対して領地の一部を返還させ、そこを幕府直轄の耕作地として再開発した
3. 鎖国体制を緩和し、海外から輸入した新しい農作物専用の耕作地を整備した
4. 農民の副業を禁止して稲作に専念させ、単位面積あたりの年貢収納高を倍増させた

問2 1792年にロシア使節のラクスマンが来航した際、江戸幕府が取った対応として正しいものはどれですか。（2018年 大阪公立入試 類似）

1. 長崎への入港許可証である信牌を与え、通商交渉の窓口を限定して対応した。
2. 異国船打払令に基づき、事前の警告なしに砲撃を加えて退去させた。
3. 日米和親条約を参考にして、即座に根室と箱館の2港を開港した。
4. 天皇の勅許を得て、ロシアとの間に日露修好通商条約を締結した。

問3 江戸時代、薩摩藩は財政を立て直すために特定の産物の専売を強化しました。奄美大島などの島々で生産させ、藩が独占的に販売することで莫大な利益をもたらした産物は次のうちどれですか。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. 奄美大島などで生産された砂糖
2. 対馬などで生産された朝鮮人参
3. 長州で生産された紙やろう
4. 土佐で生産されたカツオの節

問4 豊田秀吉が全国規模で実施した太閤検地は、それまでの農村の仕組みを大きく変えるものでした。この政策が果たした役割について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2017年 岡山公立入試 類似）

1. ものさしや枘を統一して田畑の面積や収穫量を調査し、一地一作人の原則により年貢の負担者を明確にした。
2. 地価の3%を税として現金で納めさせるようにし、農民に土地の所有権を認めることで国家財政を安定させた。
3. 有力な農民が武装することを推奨し、自らの土地を自分たちで守らせることで地方の治安を維持した。
4. 大規模な荘園領主の権利を保護し、武士が農村の支配に介入することを厳しく禁止して伝統を維持した。

問5 江戸幕府の8代将軍である徳川吉宗は、享保の改革の一環として、裁判を公正かつ迅速に行うために、判例に基づいた裁判や刑罰の基準をまとめた法律を制定しました。この法律の名称として正しいものを選択してください。（2016年 千葉県公立入試 類似）

1. 武家諸法度
2. 公事方御定書
3. 慶安の御触書
4. 御成敗式目

問6 江戸時代の三大改革の一つである「寛政の改革」の施策として、誤っている説明はどれか。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 昌平坂学問所を設立し、朱子学以外の講義や研究を禁じる「寛政異学の禁」を行った。
2. 飢饉に備えて、諸大名に収穫した米の一部を蓄えさせる「困米」の制度を設けた。
3. 物価の上昇を抑えるため、商人の営業独占を認めていた「株仲間」を解散させた。
4. 借金に苦しむ旗本や御家人を救済するため、債務を帳消しにする「棄捐令」を出した。

問7 江戸時代中期に松平定信が行った寛政の改革では、学問や出版、人々の生活に対して厳しい統制が行われました。当時詠まれた「白河の清きに魚のすみかねて もとの濁りの田沼恋しき」という狂歌において、当時の人々が抱いていた感情や背景として最も適切な説明はどれですか。（2018年 歴史公立入試 類似）

1. あまりに厳格な風紀の取り締まりや出版統制が行われ、生活が息苦しくなったことへの反感
2. 役人の汚職が横行した田沼意次の政治に戻してほしいという、幕府全体の腐敗を正そうとする願い
3. 生活の困窮を救うための積極的な公共事業が不足しており、経済の活性化を求める声
4. 飢饉への対策が不十分であり、米の価格を安定させるための強力な指導力を期待する思い

問8 江戸幕府が行った「貨幣改鑄」について、金の含有率を減らして新しい貨幣を大量に発行した目的として、最も適切なものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 幕府の財政赤字を補うため、改鑄による差益を得ること。
2. 農村の米の生産量を増やし、年貢の収入を安定させること。
3. 外国から輸入される銀の流出を食い止めること。
4. 武士の内職を奨励し、商品経済の発展を抑えること。

問9 徳川吉宗が享保の改革において、長崎貿易での「俵物」の輸出を奨励した主な背景・目的として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 沖縄公立入試 類似）

1. キリスト教の布教を完全に禁止するため、貿易相手国を制限したかった。
2. 輸入品の支払いに充てられていた国内の金銀の流出を抑えたかった。
3. 大型の軍船を建造するための木材を、海外から大量に輸入したかった。
4. 欧米諸国との間で、自由な貿易を拡大させる基盤を作りたいかった。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 町人などの資金を利用した開発を認め、幕府領の耕作地を広げることで増収を図った	幕府は年貢収入を増やすために、商人や町人の資金を活用して開発を行う「町人請負新田」などを積極的に推進しました。この政策により、幕府自身の負担を抑えつつ幕府領内の耕作地面積を拡大させることに成功し、資料に見られるような年貢収納高の大幅な増加へとつなげました。
問2	答え 1 長崎への入港許可証である信牌を与え、通商交渉の窓口を限定して対応した。	ラクスマンが根室に来航した当時、老中松平定信を中心とする幕府は、外国との交渉は長崎に限るという方針を持っていました。そのため、根室での通商要求を拒否する一方で、漂流民を送り届けたという事情を考慮し、後日長崎へ入港するための証明書（信牌）を渡して解決を図りました。これは、北方からの接触に対する初期の外交対応の一例です。
問3	答え 1 奄美大島などで生産された砂糖	薩摩藩は琉球王国を通じて支配下に置いた奄美大島などの島々でサトウキビの栽培を奨励し、黒砂糖を生産させました。藩はこの砂糖を極めて安い価格で強制的に買い上げ、大坂などの市場で独占的に販売することで、藩の財政を劇的に改善させました。選択肢にある朝鮮人参は対馬藩、紙やろうは長州藩の主要な専売品です。
問4	答え 1 ものさしや枒を統一して田畑の面積や収穫量を調査し、一地一作人の原則により年貢の負担者を明確にした。	太閤検地は、それまでの複雑な権利関係が入り混じっていた荘園制を完全に終わらせる役割を果たしました。一つの土地に対して一人の耕作者（農民）を検地帳に登録することで、年貢の徴収を確実なものにするとともに、武士と農民の身分を分ける兵農分離を押し進めました。
問5	答え 2 公事方御定書	徳川吉宗が主導した享保の改革では、行政や司法の効率化が図られました。それまで裁判官（奉行）の裁量に任されていた部分が多かった裁判において、過去の判例などを整理して「公事方御定書」という明確な基準を設けることで、司法の公平性を高める目的がありました。
問6	答え 3 物価の上昇を抑えるため、商人の営業独占を認めていた「株仲間」を解散させた。	松平定信が行った寛政の改革では、農村の復興や質素倹約、武士の学問奨励などが中心であり、株仲間の解散は行われていません。物価高騰の原因が株仲間の独占にあると考え、その解散を命じたのは、後の時代に水野忠邦が行った「天保の改革」における施策です。寛政の改革と天保の改革は、どちらも物価対策を課題としていましたが、その手法が異なる点に注意が必要です。
問7	答え 1 あまりに厳格な風紀の取り締まりや出版統制が行われ、生活が息苦しくなったことへの反感	松平定信は、田沼意次の時代の賄賂政治や風紀の乱れを正そうと、質素倹約を強制し、厳しい出版統制や「寛政異学の禁」による思想統制を行いました。しかし、このあまりに清廉潔白で厳格な政治は、民衆にとって非常に窮屈なものでした。狂歌にある「白河」は定信の領地であった白河藩（および定信本人）を指し、「濁りの田沼」は賄賂政治で批判されたものの経済的には活気があった田沼意次の時代を指しています。魚が清流では住みづらいのと同様に、人々は自由が制限された定信の政治に反発し、かつての緩やかな時代を懐かしんだことが表現されています。
問8	答え 1 幕府の財政赤字を補うため、改鋳による差益を得ること。	元禄時代、幕府は鉱山からの金銀の産出量減少や、災害復旧による支出増などにより深刻な財政難に陥っていました。そこで、既存の質の高い貨幣を回収し、金の含有率を落とした貨幣をより多く作り直すことで、その差額を幕府の収入（出目）として活用し、財政を立て直すようにしました。
問9	答え 2 輸入品の支払いに充てられていた国内の金銀の流出を抑えたかった。	江戸時代を通じて、長崎貿易では生糸などの輸入品の対価として、大量の金や銀が日本から支払われていました。これにより国内の貴金属が枯渇することを危惧した徳川吉宗は、海産物（俵物）を輸出の主力に据えることで、金銀に頼らない貿易体制を整え、国内の貨幣流通量を安定させようと試みました。